

P388 白血病細胞増殖抑制試験

マウス白血病細胞株 P388 の細胞増殖に対する作用を生細胞由来の酸化還元酵素量を指標として調べます。

試験方法

P388 細胞を 96 ウェルプレートに播種した後、検体を添加し、培養致します。その後、発色試薬を添加し、生細胞由来の酸化還元酵素との反応により生成するホルマザン色素の吸光度を測定致します。未処置対照の吸光度に対する検体の吸光度から細胞増殖率を求めることで、P388 細胞の増殖に対する作用を調べます。

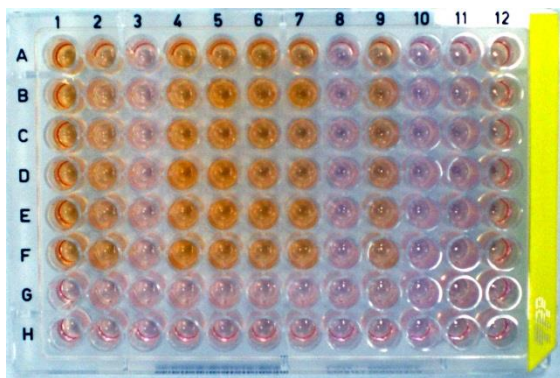


図-1 発色後のプレート

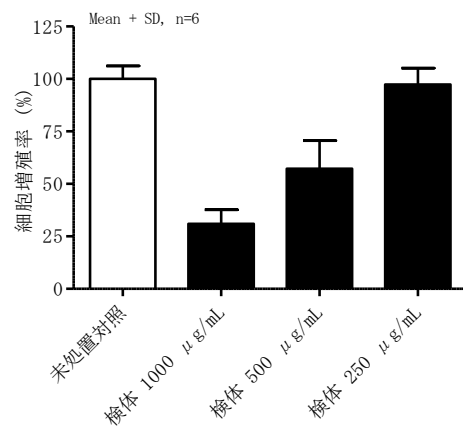


図-2 試験結果例

検体必要量

必要量：約 10 g (10 g 未満の場合はお問い合わせください。)

注意点

水に不溶の検体は試験をお受け出来ない場合がございます。また、いずれも検体数や検体の性状などにより変動致しますので、まずはお問い合わせください。

試験設計など、詳細につきましてもお気軽にご相談ください。